

アスクル「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」の行動宣言へ賛同 仕事と介護の両立を支援する企業として厚生労働省の「トモニマーク」を取得

アスクル株式会社(本社:東京都江東区、社長:岩田彰一郎、<http://www.askul.co.jp/>、以下アスクル)は、このたび、内閣府男女共同参画局が推進する「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言(http://www.gender.go.jp/policy/sokushin/male_leaders.html)に賛同いたしました。また2016年5月には、仕事と介護を両立できる職場環境の整備に取り組む企業として、厚生労働省の「トモニマーク」を取得しました。

「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言について

2014年3月28日に首相官邸で開催された「輝く女性応援会議」を契機に、輝く女性・輝こうとする女性たちを応援する各界のリーダーたちによるムーブメントが広がっています。このような中、女性の活躍推進に積極的に取り組んでいる企業の男性リーダーによる「輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会」行動宣言が取りまとめられました。



「トモニ」について

「トモニ」とは、仕事と介護を両立できる職場環境の整備に取り組んでいる企業が使用できる、厚生労働省が作成したシンボルマークの愛称です。介護離職の防止、また仕事と介護を両立しやすい職場環境の取り組みに向けた社会的気運を高める事を目的としています。



現在、家族の介護のために離職する「介護離職」が増加しており、約10万人以上が介護を理由に離職し、約240万人以上が介護をしながら就業しているともいわれています。介護による人材の流出を防ぐ取り組みは、企業の発展にとって重要であるとともに、従業員にとっても職を失うことなく慣れ親しんだ会社で働き続けることができるというメリットがあります。

アスクルは、出産・育児といった子育て支援のみならず、仕事と介護の両立ができる職場環境の整備を行い、社員一人ひとりが家庭と仕事を両立し、仕事を続けていくことができるよう取り組んでまいります。

アスクルのダイバーシティ推進の取組み

アスクルは、意志ある多様な人材一人ひとりが自分らしい貢献を楽しむことができる組織文化の醸成を目指し、2014年10月にダイバーシティ推進部を新設しました。

2015年3月には、企業理念・ミッション・マインド(価値観)・プリンシプル(行動原則)から構成される「ASKUL WAY」(<https://www.askul.co.jp/kaisya/company/dna.html>)を進化&深化させ、ダイバーシティ推進についての基本的な考え方をより明確に示しました。

同時に「アスクル ダイバーシティ宣言」を行い、「Diversity for Vitality (ダイバーシティ・フォー・バイタリティ)」のスローガンのもと、アスクルグループにおけるダイバーシティ推進の積極的な取り組みをスタートしました。経営のコミットメントによるステアリングコミッティと自主的に集まったメンバーによるタスクフォースチーム(分科会)

News Topics



を設置し、多様な人材育成、多様な働き方促進、組織風土醸成などについて提案を行い、ダイバーシティ推進の実現に向けた活動を展開しています。

アスクルの「ダイバーシティ推進の取組み」について、詳細は <https://www.askul.co.jp/csr/social/work.html> をご参照ください。

※ 本リリースに掲載の情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。